

アプリケーションソフト の機能修正を丸ごと 体験するセミナー

WIN スクール

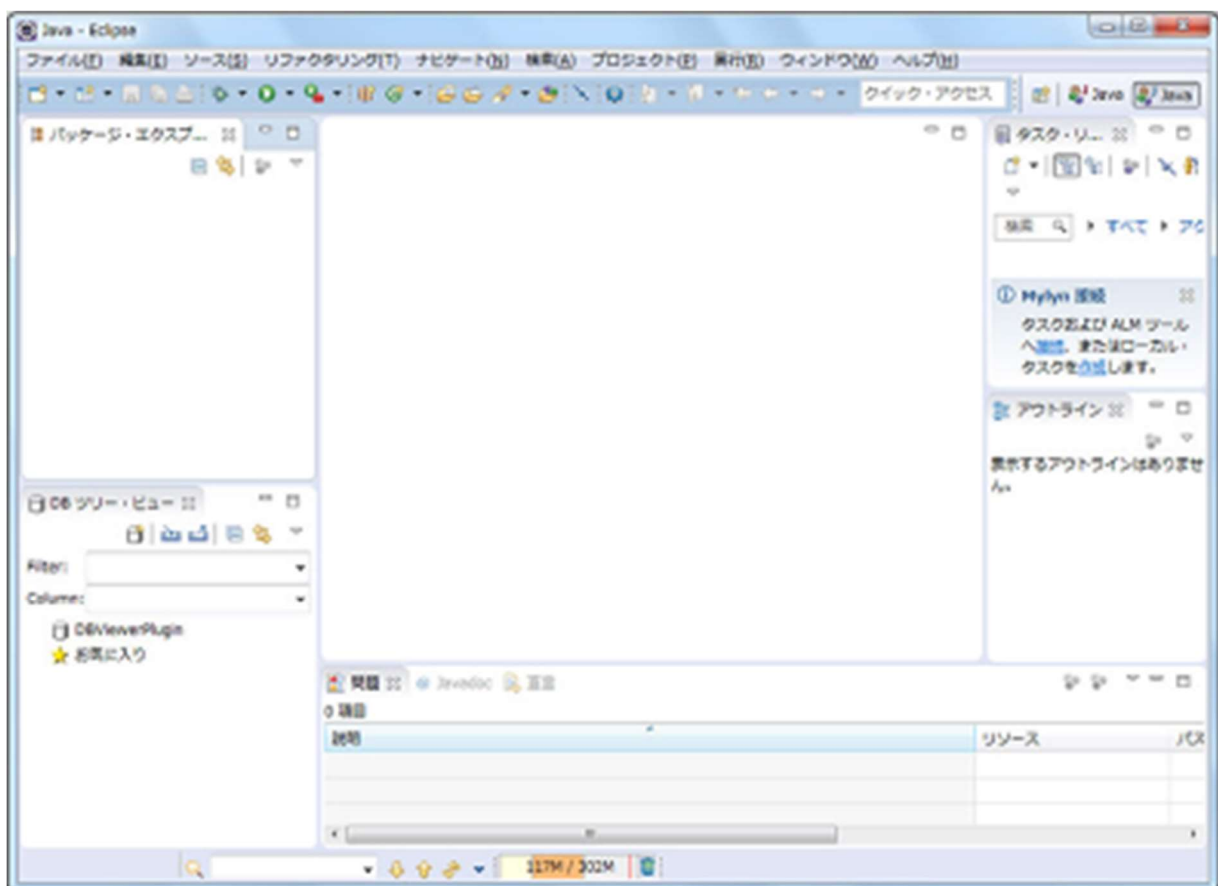
[会社名] | [会社の住所]

第 1 節 Eclipse 起動

1. 1. Eclipse の起動

まずは、画面表示を統一していきます。

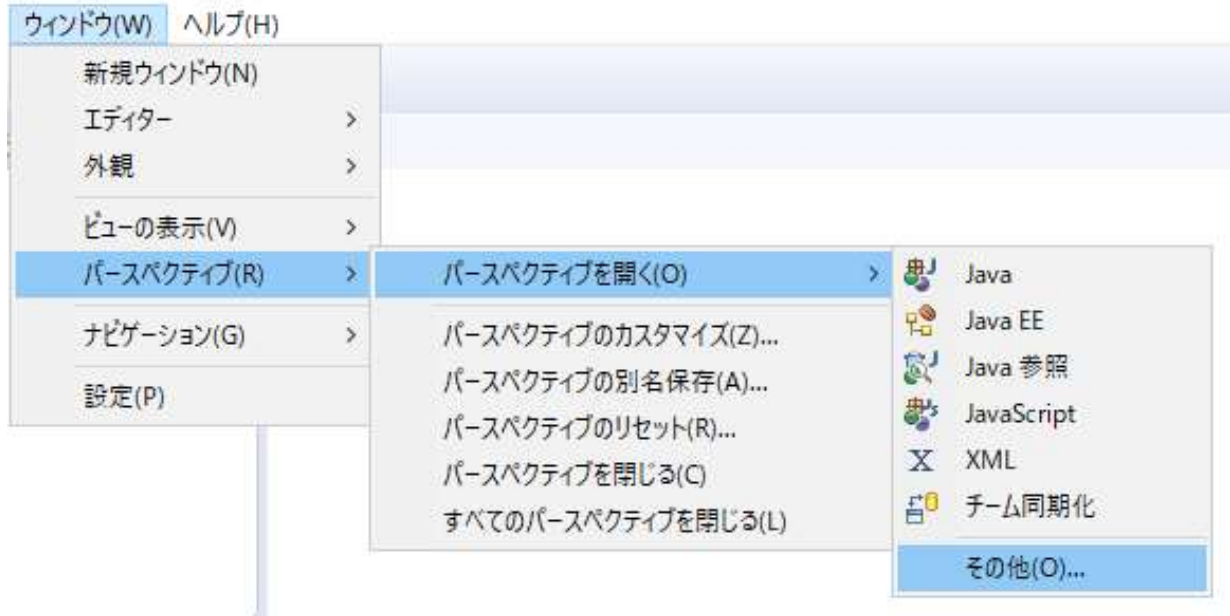
デスクトップの eclipse.exe へのショートカットをダブルクリックします。起動にはしばらく時間がかかります。立ち上がると「ワークスペースランチャー」が起動する為「Desktop/test」を入力してOKを押す。しばらく待つと、以下のような画面が表示されます。



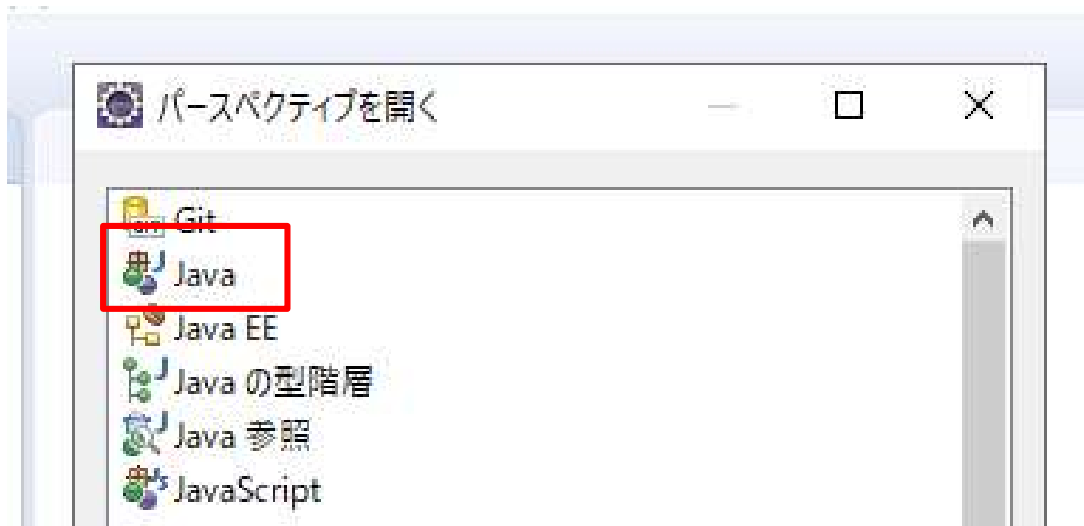
2. パースペクティブ切替

次に画面表示を統一していきます。

メニューバーの[ウィンドウ]-[パースペクティブを開く]-[その他]を選択します。



「Java」という選択肢が 2 つあるので（デフォルト）と付いていない方を選択し、OK ボタンをクリックします。

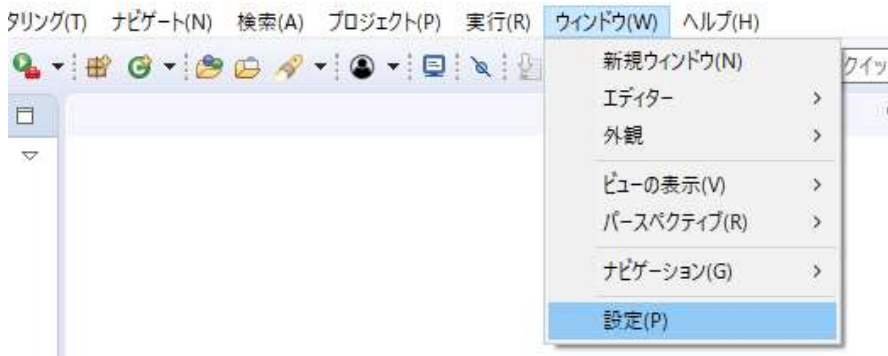


3. 文字コードの確認

次にワークスペースの文字コードを指定していきます。

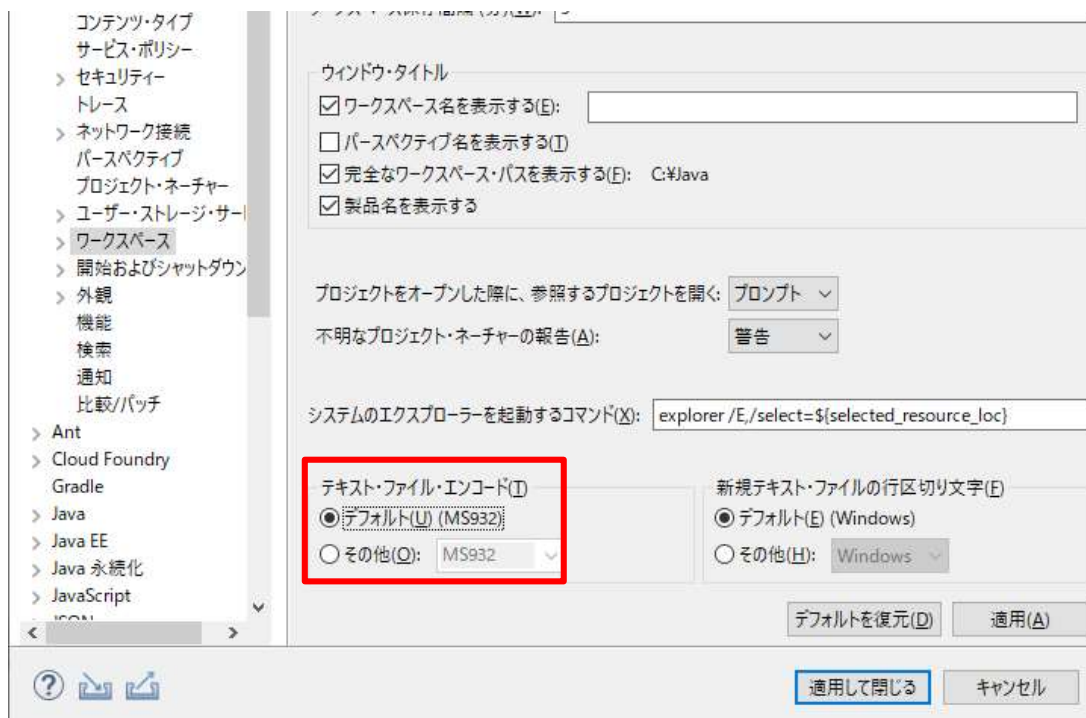
今回のワークスペースの文字コードは Eclipse でデフォルトの「MS932」で行っていきます。これは取り込むプロジェクトもこの文字コードで作成している為、必ず一緒にしてください。

(1) Eclipse でメニューバーの**[ウィンドウ]-[設定]**をクリックします。



設定ダイアログボックスの**[一般]- [ワークスペース]**をクリックしてテキストファイルエンコードの**デフォルト (MS932)**をクリックします。

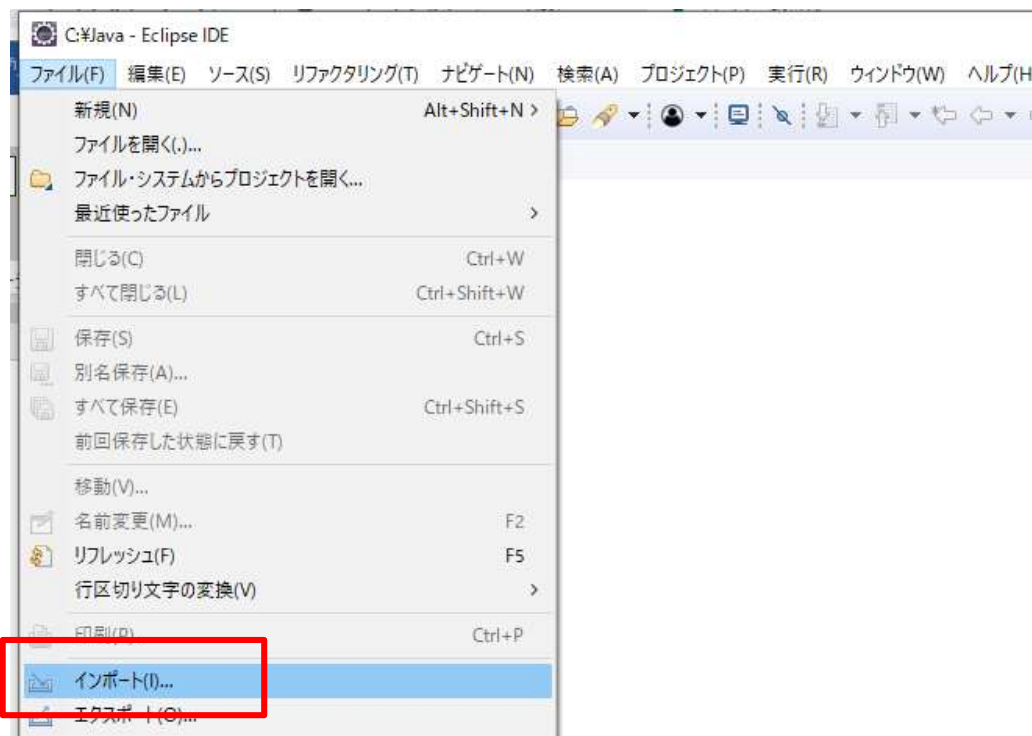
選択が終わったら、適用して閉じるをクリックします。これで文字コードが変わりました。



4. プロジェクトファイルのインポート

今回は完成しているプロジェクトフォルダをインポートしてもらい使っていきます。
事前に送っている「vendingMachine2019_bug.zip」ファイルを準備してください。

(1). メニューバーから**[ファイル]-[インポート]**を選択します。



インポートダイアログボックスの**[一般]-[既存プロジェクトをワークスペースへ]**を選択して次へを押します。

